

NAO/AO (北大西洋振動/北極振動) が負

冬

積雪が多い

春

オホーツク海高気圧が弱い

夏

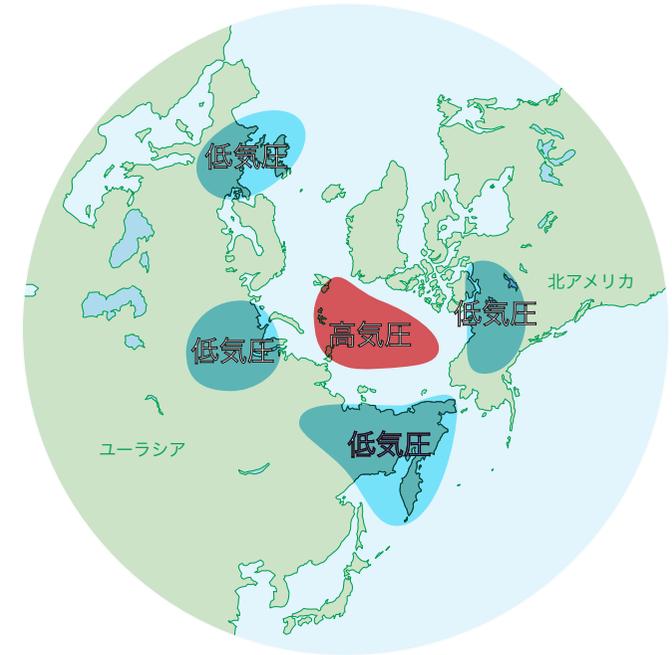
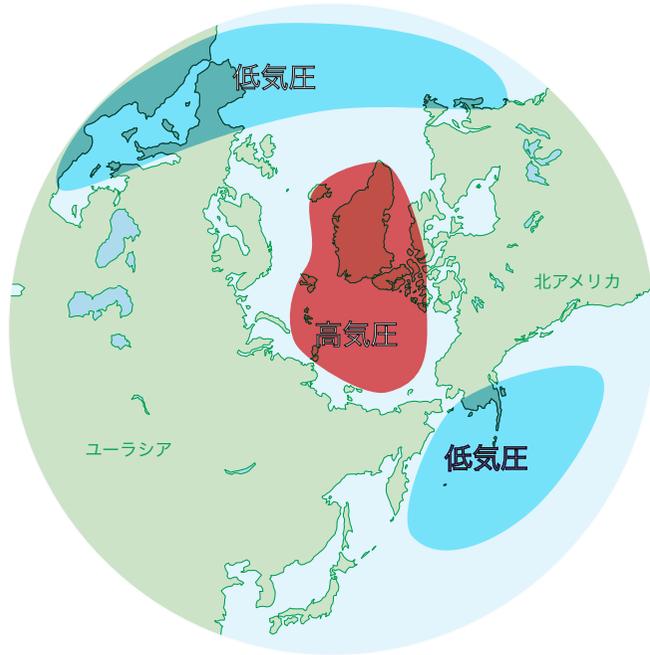


図 1

今年の冬のパターンに相当。「負」のパターンの冬は、ユーラシア大陸の温度は低温になる。

今年の春のパターンに相当。春には、ユーラシア大陸の積雪や、北極(バレンツ海)などの海氷が多くなる。

雪の量の変化は、春に雪が溶けても土壌水分量に影響を与え蒸発・降水・温度変化の熱量・輸送過程を通して大気の過熱に影響を与えると考えられる。

オホーツク海、東ヨーロッパ、イギリス、アメリカ大陸上など低気圧が強まる場所は、図1中央で示した積雪変動や海水変動が大きな場所にほぼ一致する。オホーツク海に低気圧が見られることは、通常は高気圧が発生するオホーツク海が、低気圧になることを示す。

\* 冬季NAO/AO (北大西洋振動/北極振動) が「正」の場合は、上記の冬から夏への流れがすべて反転し、積雪や海氷が減少し、オホーツク海高気圧は発達する。